

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名 株式会社 アスラポート・ダイニング

上場取引所 大

コード番号 3069 URL <http://www.asrapport-dining.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 齊藤 隆光

TEL 03-6459-3235

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,495	0.4	297	45.8	293	44.0	249	56.6
24年3月期第3四半期	5,472	△2.6	203	△11.7	203	△6.8	159	16.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 249百万円 (56.8%) 24年3月期第3四半期 159百万円 (16.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	13.91	13.81
24年3月期第3四半期	9.37	9.34

(注) 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,341	1,385	40.2
24年3月期	2,848	1,017	34.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,341百万円 24年3月期 980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,463	2.1	355	24.0	341	26.2	211	△12.5	12.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が期首に行われたとして算定)。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	18,250,000 株	24年3月期	17,460,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,400 株	24年3月期	2,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	17,948,872 株	24年3月期3Q	17,015,236 株

(注)当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため平成25年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、業績予想の1株当たり当期純利益及び期中平均株式数については、当該株式分割が当期首に行なわれたと仮定した数値を表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記情報）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり、緩やかな回復基調にあるものの、欧州債務問題、新興国景気の減速感など景気の下振れ要因もあり、依然不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、依然として厳しい雇用情勢等を背景とした消費者の節約・低価格志向は根強く、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中で、当社グループは「外食フランチャイズチェーンのリーディングカンパニー」を目指すという目標を掲げ、引続き「既存ブランドにおける品質とサービスの追求」「ブランド・ポートフォリオの多様化」「フランチャイズ運営ノウハウを活かしたフランチャイズ展開支援」「海外市場への進出」「自社ブランド商品の開発と、業務用食材等の外販事業」の各課題に取り組んでまいりました。

ブランドごとの当第3四半期連結累計期間の概況及び取り組みは以下のとおりであります。

子会社である株式会社プライム・リンクが展開する「牛角」では、人気テレビ番組とのコラボレーションスイーツの発売や、キャンペーン、SNSを活用した販促策などが来店客数の前年比アップにつながりました。

「とりでん」では唐揚げや釜飯を中心とした「テイクアウトメニュー」を全店で導入、地域の中食需要の取り込みを本格的に開始し、「おだいどこ」では、早割り予約キャンペーン等で忘年会の獲得につとめました。

子会社である株式会社とり鉄の「とり鉄」では新メニューを導入、産地直送の野菜や地域の特徴ある食材などを新たに加えることでメニューの価値向上に努めました。

子会社である株式会社フードスタンドインターナショナルでは、「たこばやし」ブランドを中心に、お好み焼きチェーンである「ぼてぢゅうグループ」との業務提携によるメニューの相互販売とともに、フードコート内への出店を継続しました。

こうした結果、既存業態売上高前年同期比においては、「牛角」109.0%、「とりでん」94.7%、「おだいどこ」94.6%、「とり鉄」97.3%となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,495百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業利益は297百万円（前年同四半期比45.8%増）、経常利益は293百万円（前年同四半期比44.0%増）、四半期純利益は249百万円（前年同四半期比56.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①店舗運営

株式会社プライム・リンクにおいて1店舗を閉店するかたわら1店舗をオープンし、株式会社フードスタンドインターナショナルでは1店舗をオープンしました。結果、当第3四半期における当社グループの直営店舗数は41店舗となり、店舗運営の売上高は2,170百万円（前年同四半期比3.3%減）となりました。

②フランチャイズ

株式会社プライム・リンクでは7店舗をオープンするかたわら、9店舗を閉店しました。また、株式会社とり鉄では、2店舗をオープンし、2店舗を閉店しました。株式会社フードスタンドインターナショナルでは1店舗をオープンし、2店舗を閉店しました。この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループのフランチャイズ店舗数は308店舗となりました。

これに一部ブランドフランチャイズ店舗向け食材の売上高を加えた結果、フランチャイズの売上高は2,864百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

③その他

転貸における売上及び加盟企業向け販促物の売上等を中心に、その他の売上高は460百万円（前年同四半期比14.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,341百万円となり、前連結会計年度末に比較し493百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は1,955百万円となり、前連結会計年度末と比べ125百万円増加いたしました。これは主に、借入金及び社債の増加によるものであります。

純資産については、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比べ367百万円増加し、1,385百万円となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記情報）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	510,800	1,007,477
売掛金	616,922	650,388
商品	27,363	55,928
貯蔵品	6,873	11,792
その他	230,882	237,759
貸倒引当金	△28,361	△23,329
流動資産合計	1,364,481	1,940,016
固定資産		
有形固定資産	334,507	280,393
無形固定資産		
のれん	306,349	269,889
その他	57,120	42,263
無形固定資産合計	363,470	312,152
投資その他の資産		
敷金及び保証金	684,246	664,426
その他	145,563	176,243
貸倒引当金	△44,034	△31,734
投資その他の資産合計	785,775	808,934
固定資産合計	1,483,754	1,401,480
資産合計	2,848,235	3,341,497
負債の部		
流動負債		
買掛金	393,799	478,257
短期借入金	153,950	207,630
未払法人税等	26,598	36,958
その他	595,339	557,417
流動負債合計	1,169,687	1,280,263
固定負債		
社債	—	70,000
受入保証金	460,996	438,041
資産除去債務	81,204	81,117
その他	118,447	86,179
固定負債合計	660,648	675,338
負債合計	1,830,335	1,955,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	644,821	700,888
資本剰余金	603,118	659,185
利益剰余金	△266,148	△16,457
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	980,362	1,342,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△333	△504
その他の包括利益累計額合計	△333	△504
新株予約権	37,871	44,210
純資産合計	1,017,900	1,385,894
負債純資産合計	2,848,235	3,341,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	5,472,795	5,495,386
売上原価	2,948,363	2,941,637
売上総利益	2,524,431	2,553,748
販売費及び一般管理費	2,320,670	2,256,700
営業利益	203,761	297,048
営業外収益		
受取利息	699	998
受取補償金	—	19,095
その他	15,973	11,487
営業外収益合計	16,672	31,581
営業外費用		
支払利息	11,514	7,488
支払手数料	—	5,577
支払補償費	—	15,524
その他	5,256	6,737
営業外費用合計	16,771	35,327
経常利益	203,661	293,302
特別利益		
受取契約違約金	8,736	—
新株予約権戻入益	—	540
特別利益合計	8,736	540
特別損失		
減損損失	10,420	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	18,107	—
賃貸借契約解約損	—	6,344
特別損失合計	28,527	6,344
税金等調整前四半期純利益	183,871	287,498
法人税、住民税及び事業税	16,824	39,420
法人税等調整額	7,589	△1,614
法人税等合計	24,413	37,806
少数株主損益調整前四半期純利益	159,457	249,691
少数株主利益	—	—
四半期純利益	159,457	249,691

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	159,457	249,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△355	△170
その他の包括利益合計	△355	△170
四半期包括利益	159,102	249,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,102	249,521
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

1. ストックオプションとして発行する新株予約権について

当社は、平成25年1月18日開催の取締役会において、当社の取締役、監査役及び従業員並びに当社子会社の取締役及び従業員に対して、ストックオプションとして新株予約権の割当を行うことを決議いたしました。

(1) 銘柄

株式会社アスレポート・ダイニング 第4回新株予約権

(2) 発行数

10,000個（新株予約権1個につき100株）

なお、本新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式の総数は、当社普通株式1,000,000株とし、下記(5)により本新株予約権にかかる付与株式数が調整された場合は、調整後付与株式数に本新株予約権の数を乗じた数とする。

(3) 発行価格

本新株予約権1個あたりの発行価格は、100円とする。なお、当該金額は、第三者評価機関である株式会社プルータス・コンサルティングが、当社の株価情報等を考慮して、一般的なオプション価格算定モデルであるモンテカルロ・シミュレーションによって算出した結果を参考に決定したものである。

(4) 発行価額の総額

1,000,000円

(5) 新株予約権の目的となる株式の種類、内容及び数

本新株予約権1個あたりの目的である株式の数（以下、「付与株式数」という。）は、当社普通株式100株とする。

なお、付与株式数は、本新株予約権の割当日後、当社が株式分割（当社普通株式の無償割当てを含む。以下同じ。）または株式併合を行う場合、次の算式により調整されるものとする。ただし、かかる調整は、本新株予約権のうち、当該時点で行使されていない新株予約権の目的である株式の数についてのみ行われ、調整の結果生じる1株未満の端数については、これを切り捨てるものとする。

調整後付与株式数＝調整前付与株式数×分割（または併合）の比率

また、本新株予約権の割当日後、当社が合併、会社分割または資本金の額の減少を行う場合その他これらの場合に準じ付与株式数の調整を必要とする場合には、合理的な範囲で、付与株式数は適切に調整されるものとする。

(6) 新株予約権の行使に際して払い込むべき金額

本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、1株あたりの払込金額（以下、「行使価額」という。）に、付与株式数を乗じた金額とする。

行使価額は、金203円とする。

なお、本新株予約権の割当日後、当社が株式分割または株式併合を行う場合、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{1}{\text{分割（または併合）の比率}}$$

また、本新株予約権の割当日後、当社が当社普通株式につき時価を下回る価額で新株の発行または自己株式の処分を行う場合（新株予約権の行使に基づく新株の発行及び自己株式の処分並びに株式交換による自己株式の移転の場合を除く。）、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times \text{1株あたり払込金額}}{\text{新規発行前の1株あたりの時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

なお、上記算式において「既発行株式数」とは、当社普通株式にかかる発行済株式総数から当社普通

株式にかかる自己株式数を控除した数とし、また、当社普通株式にかかる自己株式の処分を行う場合には、「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」に読み替えるものとする。

さらに、上記のほか、本新株予約権の割当日後、当社が他社と合併する場合、会社分割を行う場合、その他これらの場合に準じて行使価額の調整を必要とする場合には、当社は、合理的な範囲で適切に行使価額の調整を行うことができるものとする。

(7) 新株予約権の行使期間

本新株予約権を行使することができる期間（以下、「行使期間」という。）は、平成25年2月8日から平成29年2月7日までとする。

(8) 新株予約権の行使の条件

- ① 本新株予約権を保有する新株予約権者（以下、「本新株予約権者」という。）は、当社が金融商品取引法に基づき提出した平成27年3月期の当社有価証券報告書において計算されるEBITDA（以下、連結損益計算書に記載された営業利益に、連結キャッシュ・フロー計算書に記載された減価償却費及びのれん償却額を加算した額をいう。）が700百万円を超過している場合にのみ、本新株予約権を行使できる。なお、国際財務報告基準の適用等により参照すべき項目の概念に重要な変更があった場合には、別途参照すべき指標を取締役会で定めるものとする。
- ② 本新株予約権者は、割当日から平成27年2月7日までに、当社普通株式の普通取引終値の1ヶ月間（当日を含む直近の21本邦営業日）の平均が一度でも行使価額の70%を下回った場合には、本新株予約権を行使できない。
- ③ 新株予約権者は、新株予約権の権利行使時においても、当社または当社関係会社の取締役、監査役または従業員であることを要する。ただし、任期満了による退任、定年退職、その他正当な理由があると取締役会が認めた場合は、この限りではない。
- ④ 新株予約権者の相続人による本新株予約権の行使は認めない。
- ⑤ 本新株予約権の行使によって、当社の発行済株式総数が当該時点における授權株式数を超過することとなるときは、当該本新株予約権の行使を行うことはできない。
- ⑥ 各本新株予約権1個未満の行使を行うことはできない。

(9) 新株予約権の行使により株式を発行する場合の当該株式の発行価格のうちの資本組入額

- ① 本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とする。計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。
- ② 本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本準備金の額は、上記①記載の資本金等増加限度額から、上記①に定める増加する資本金の額を減じた額とする。

(10) 新株予約権の譲渡に関する事項

本新株予約権の譲渡については、当社取締役会の承認を要するものとする。

(11) 新株予約権の取得の申込みの勧誘の相手方の人数及びその内訳

当社取締役	3名	3,600個	(360,000株)
当社監査役	1名	200個	(20,000株)
当社従業員	6名	3,400個	(340,000株)
当社子会社取締役	2名	1,800個	(180,000株)
当社子会社従業員	2名	1,000個	(100,000株)

(12) 勧誘の相手方が提出会社に関係する会社として企業内容等の開示に関する内閣府令第2条第2項に規定する会社の取締役、会計参与、執行役、監査役又は使用人である場合には、当該会社と提出会社との間の関係

株式会社プライム・リンク	発行会社の完全子会社
株式会社とり鉄	同上

(13) 勧誘の相手方と提出会社との取り決めの内容

取り決めの内容は、当社と新株予約権者との間で締結する新株予約権割当契約において定めるものとする。